

森町の「笑っ茶うお参りコース」ご案内

森支部 災禍転福貧乏神社三倉分社 祭主 田 邊 哲

貧乏神を追い払う移動型「災禍転福貧乏神社三倉分社」をやりだして次に考えたのは、こういう面白いお参りの対象を森町に7~8ヶ所発掘整備してコース化すれば「笑っ茶うお参りコース」として観光資源になるのではないかという事でした。

早速それぞれの地域に「笑っ茶うお参りコース」を整備しようという呼びかけの「笑っ茶う蹴教サミット」（敢えて宗教の字は避けた）を始めたところ、引佐町渋川には創建されたばかりの「銭貯杉之神ぜにたまりすぎのかみ」がみつきり、春野町の村おこしグループ夢プロは「金輪際様」をご本尊とする「足洗い神社」の創建に着手してくれました。

地元の森町は、墓石のかけらを財布に入れておくと勝負運が上がるという言い伝えで墓石が削られ続け、3代目になる大洞院にある「森の石松の墓」。健康で長生きし長思いせずに極楽に往きたい、という誰もが願う思いを叶えてくれるあじさい寺（正式名極楽寺）にある阿弥陀仏「遠州ぼっくり様」。中川之地蔵寺には、荒縄でぎゅうぎゅう縛りながら命じれば失せものをたちどころに探してくれる「お縛り不動」。建設中の太田川ダム近くにある片吹のおおまる様（本当は、大まら様）は男のシンボルの石柱がご神体の男の神様で、若い女性がこの神様に太ももをちらちら見せながらお願いすると、もっと中見たさに男の神様が必死に願いを叶えてくれる。当然お礼にもっと中を見せてあげなければいけません。こんなコースを私が添乗員になってご案内します。当然私の笑っ茶う講演付ですし、「笑っ茶う初詣」もあります。昼食は今井シェフの開運フレンチ、アクティ森の重松料理長の



地元食材をふんだんに使った季節料理がチョイス出来ます。

筑波大学名誉教授村上和雄先生が、「笑い」は遺伝子にまで好影響を与える事を証明しています。

皆様、森町の「笑っ茶うお参りコース」へも是非お越し下さい。そして、ほのぼのと心温まる、先人の知恵に心から感心する、理屈抜きで腹を抱えて笑ってしまう、ユニークな、面白い、笑っ茶うお参り対象が皆様の地域にもまだまだ埋もれていると思います。

スローライフ社会にむけて、これらを発掘整備し情報発信することに よって新たな観光資源にしましょう。

